



双葉東小学校だより

令和6年 9月2日 文責 学校長 窪田 正幸

2学期スタート!!



38日間の夏休みを終え、一段とたくましくなった子どもたちが、元気よく登校してきました。今年の夏休みは、予想されていた通り猛暑日が続きました。また、突然のゲリラ雷雨や南海トラフ地震臨時情報の発表、そして、台風10号による風雨被害など、自然災害の恐怖と同時に対策の重要性を痛感させられました。

そのような状況の中でも、2学期登校初日の子どもたちの輝く笑顔からは、楽しく充実した夏休みであったことが伺えました。夏休み中、子どもたちが大きな交通事故や事件に巻き込まれることなく元気に過ごすことができたのも、保護者や地域の皆様の日常的なご支援・ご指導のお陰であると思います。心より感謝申し上げます。

2学期の予定授業日数は76日。夏から秋を経て冬へと三つの季節を駆け抜けていきます。季節の移り変わりを感じながら、充実した2学期が過ごせるように取り組んで行きたいと思います。

キーワードは【本気】 ～ 始業式学校長の話から ～

長い2学期が子どもたちにとって意味あるものとなることを願い、始業式の中で以下のような話をしました。

2学期に、ぜひ皆さんに頑張ってほしいことを話します。キーワードは『本気』です。校長先生が好きな詩に【本気】という題名の詩があります。相田みつをさんが書いた短い詩です。

(引用)

本 気

なんでもいいからさ 本気でやっこらん 本気でやれば たのしいから
本気でやれば つかれないから つかれても つかれがさわやかだから

本気というのは「真剣」とか「一生懸命」という意味です。もちろん、「全てを本気で」というのはなかなか大変です。でも、何か一つでも、「これは本気で」というものを自分で決めて、行動に移してみませんか。

例えば、これから始まる運動会の練習。本気で頑張っている人は輝いて見えます。どんなに走るのが速い人でも、ふざけ半分で走っていたら、かっこう悪いですね。逆に、たとえ走るのが苦手でも、本気で走っている人は輝いています。かっこいいです。

そして、本気でやると、できなかったことができるようになってきます。だから、本気でやると、そのことが楽しくなります。本気でやった後はへとへとになるでしょう。でも、それはきっと、気持ちの良い、さわやかな疲れなのだと思います。

【本気】は、誰でもできます。【本気】は一人一人の心が決めます。そして、自分の本気スイッチを入れるのは自分自身です。校長先生は、皆さんの本気で頑張っている姿がたくさん見られると、とてもうれしいです。



2学期に頑張りたいこと ～代表児童の決意～

2年生女児

2学期のくひょうは、にが手なさんすうを、少しでもとくいになれるようがんばりたいです。図書しつの本もたくさんかりて、きょねんよりも本を読んで、きろくをこうしんしたいです。



4年生男児

1つ目は漢字です。50問テストに1回で合格できるようたくさん練習したいです。2つ目は運動会です。リレーで1位になりたいです。ソーラン節もかっこよく踊れるように練習します。クラスでレクとかもたくさんして楽しい2学期にしたいです。

6年生女児

運動会の練習と算数の勉強をがんばりたいです。小学校最後の運動会なので、組立の技やフラッグ、応援団のかけ声をがんばります。算数では、2学期は勉強する内容が多いので、間違えてしまったところをもう一度自主学習してできるようにしたいです。